

にほんごばん
日本語版(2024)

あなたは、 どの^{こう}高校^{こう}を^{えら}選びますか

かいていばん
改訂版

ひょうごけんきょういくいいんかい
兵庫県教育委員会

兵庫県では、一人一人の個性や能力を伸ばす学校教育の充実のため、魅力ある高等学校づくりを積極的に推進しています。普通科や専門学科の特色化を進めているほか、総合学科や単位制、新しい専門高校の設置などを行い、学校選択の幅が広がっています。

ここでは、みなさんが出願できる兵庫県立高等学校および県内市立高等学校の課程、学科別の特徴等と入学者選抜制度について紹介していますので、学びたいことが学べる学校選びをする際の参考にしてください。なお、各高等学校はホームページでも調べることができます。

こうとうがっこう 高等学校ってどんなところ？

かてい 課程

学校で学ぶ時間帯や学び方の違いによって、全日制、定時制、多部制、通信制の課程に分かれています。

ぜんにちせい ていじせい たぶせい つうしんせい 全日制／定時制／多部制／通信制

ぜんにちせい 全日制

授業や学校行事、部活動などの教育活動が昼間に行われます。各高等学校の特色に応じて、時間割やクラス編成などが工夫されています。

ていじせい 定時制

昼間や夜間の特別な時間帯に教育活動が行われます。午後1時頃から4時頃まで学ぶ昼間定時制と午後5時頃から9時頃まで学ぶ夜間定時制があります。

たぶせい 多部制

午前（1部）、午後（2部）、夜間（3部）の3つの部があり、いずれかの部に所属して学習します。それぞれの生活スタイルに合わせ、部をこえて時間割を組み、学習することもできます。

つうしんせい 通信制

通信の方法による教育活動が行われます。レポートの提出や年間に定められたスクーリング（教室などで、先生から直接授業を受けること）などによって単位を修得できます。

がっか 学科

各課程において、学習する内容の違いにより、普通科、総合学科、職業教育を主とする学科（職業学科）、特色ある専門学科が設置されています。

ふつうか 普通科 / そうごうがっか 総合学科 / せんもんがっか 専門学科

ふつうか 普通科

普通科では、国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語などの教科を中心に学びます。生徒の進路希望や興味・関心に応じて系統的に教科・科目が選択できるよう、文系、理系以外にも、芸術類型、生命科学類型、福祉ボランティア類型、教育類型などの特色ある「類型」が設置されている高等学校もあります。

また、類型にかかわらず、幅広い学習ニーズにこたえるため、「情報処理」や「社会福祉基礎」など、専門科目を含めた幅広い選択科目も設置されています。

さらに、地域の実態、生徒の学習ニーズ等を踏まえ、各分野や領域に関する学習を取り入れた、国際文化系コース、自然科学系コース、健康福祉系コース、総合人間系コースが設置されている高等学校もあります。

そうごうがっか 総合学科

総合学科では、生徒の興味・関心、進路希望などに応じて、共通科目と専門科目の両方から自分自身で科目を選び、学習することができます。

将来の職業や生き方について考える科目「産業社会と人間」をはじめ、様々な科目を学習することを通じて、自分自身の進路に対する意識や関連した知識等を高めることができます。

多様な選択科目は、「系列」と呼ばれるグループに分けられており、各高等学校において、多くの特色ある系列が設置されています。

しよくぎようきよういく しゅ がっか しよくぎようがっか 職業教育を主とする学科（職業学科）

農業や工業、商業など、各分野におけるスペシャリストをめざして、専門的な内容を学習します。バイオテクノロジーやコンピュータなど、時代の先端を担う科目が数多く設置されています。また、建築や簿記、情報処理等、それぞれの専門分野に合わせた多くの資格を取得することもできます。

とくしよく せんもんがっか 特色ある専門学科

職業学科以外にも、一人一人の多様な個性に対応した様々な専門学科が設置されています。スポーツや芸術、科学、防災など、各分野において専門的な技術・知識を身につけるとともに人間性を養い、将来、社会の各分野で活躍できる人材を育成します。

単位制

学年ごとに単位を認定し、上の学年に進級する学年制のしくみに加えて、平成6年度から、新たに単位制という柔軟な学びのシステムを導入しています。

「単位」とは、学習の量をあらわす基準のことで、一定時間の授業を継続して受け、高等学校の定める出席や成績の条件を満たすことによって認定されます。これを「単位の修得」と呼びます。学年の区別なく、必要な単位を修得することによって卒業が認められるのが単位制高等学校の特徴です。総合学科においても、単位制のしくみを取り入れています。

中高一貫教育校

中学校と高等学校の6年間を接続し、弾力的な教育活動を展開する中で、生徒の個性や創造性を伸ばすことを目的としています。

中高一貫教育校には、①一つの学校として一体的に中高一貫教育を行う「中等教育学校」、②同一設置者による中学校と高等学校を接続し、中等教育学校に準じて中高一貫教育を行う「併設型中高一貫教育校」、及び③既存の市町立中学校と県立高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める形で中高一貫教育を実施する「連携型中高一貫教育校」があります。

(中等教育学校) 芦屋国際中等教育学校(高等学校入学者選抜はありません。)

(併設型中高一貫教育校) 県立大学附属中学校と県立大学附属高校

(連携型中高一貫教育校) 青垣中学校・永上中学校と永上西高校、千種中学校と千種高校

さあ、高校を選びましょう

通学区域(学区)について

魅力ある高校づくりをさらに推進・発展させ、みなさんにとって多様な高等学校の選択が可能となるよう、公立高等学校の全日制普通科(単位制を含む)および総合学科の通学区域が、平成27年度入学者選抜から5つになりました。

普通科(単位制)や総合学科の推薦入学、専門学科(職業教育を主とする学科・特色ある専門学科)、定時制・多部制・通信制の高等学校は、原則、県内全域からの出願が可能です。



にゅうがくしゃせんぱつ 入学者選抜について

ふつうか たんいせい ふく
普通科（単位制を含む）をめざす人

れんけいがたちゅうこういつかんきょういくこう のぞ
※連携型中高一貫教育校を除く

2月実施	○特色選抜 全日制普通科（単位制を除く）の特色ある類型において実施 面接・小論文（作文）等（募集定員の20%以内（最大40人）） ○推薦入学 全日制普通科（単位制）：面接・適性検査等（募集定員の50%） ※特色ある類型、コースは学区内で受検可能 ※全日制普通科（単位制）は県内全域から受検可能 ※家島高校、生野高校は県内全域から、村岡高校は全国から、募集定員の50%以内で特色選抜を実施
3月実施	○学力検査 学区内で受検可能 複数志願選抜

ふくすうしがんせんぱつ 複数志願選抜について

公立の全日制普通科（単位制を含む）及び総合学科の高等学校で実施します。

（ただし、コース、連携型中高一貫教育校は除きます。）

- 個性や能力に応じて高等学校を選択し、1校または2校を志願できます。
- 志願者の第1志望を支援するために、第1志望校には一定の加算点を加えて合否判定を行います。
- 総合学科のみを志望する場合に限り、学力検査のうちの1教科を、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の4教科のうち、希望する1教科の実技検査に替えることができます。

そうごうがっか ひと
総合学科をめざす人

2月実施	○推薦入学 県内全域から受検可能 面接・小論文（作文）（募集定員の50%）
3月実施	○学力検査 学区内で受検可能 複数志願選抜

総合学科の選抜では、募集定員の50%について推薦入学による合否判定を行います。

推薦入学の学区は県内全域です。募集定員から推薦入学による合格者を除いた残りの定員は、その高等学校のある学区で、学力検査（複数志願選抜）による合否判定を行います。

専門学科（職業教育を主とする学科（職業学科））・特色ある専門学科）をめざす人

2月実施	○推薦入学 県内全域から受検可能 面接・小論文（作文） （職業学科は募集定員の50%、特色ある専門学科は募集定員の100%） ※ただし、職業学科のうち、下記においては募集定員の100% 神戸商業（情報、会計）、市立明石商業（国際会計）、 姫路工業（電子機械）、姫路商業（情報科学）、 武庫荘総合（福祉探求）、龍野北（看護、総合福祉）、 日高（看護、福祉）
3月実施	○学力検査 県内全域から受検可能 単独選抜 ※学校ごとに合格者を決定します。

専門学科の学区は県内全域です。学力検査と推薦入試の両方を行う学科と、特色ある専門学科のように、募集定員の100%を推薦入試で行う学科があります。

連携型中高一貫教育校（氷上西高校・千種高校）めざす人

2月実施	○推薦入学 連携中学校の生徒を対象に実施 面接・適性検査（募集定員の75%）
3月実施	○学力検査 県内全域から受検可能 単独選抜 ※学校ごとに合格者を決定します。

連携型中高一貫校では、募集定員の75%を連携中学の生徒を対象に、推薦入学を行います。
そして募集定員から推薦入試による合格者を除いた人数については、学力検査を行い、高等学校ごとに合格者を決定します。学力検査は県内全域から受検できます。

定時制・多部制・通信制をめざす人

2月実施	多部制：Ⅰ期試験（面接・作文）
3月実施	定時制：学力検査（5教科） 多部制：Ⅱ期試験A（学力検査・面接） 通信制：面接

定時制・多部制・通信制は県内全域から受検可能です。定時制の選抜では、学力検査（5教科）を行います。多部制の選抜には、Ⅰ期試験と、Ⅱ期試験Aがあります。Ⅰ期試験では面接・作文を行います。Ⅱ期試験Aの学力検査の内容は各学校で定められます。その他、転・編入の生徒を対象としたⅡ期試験B（3月中旬）や、中学校既卒者等を対象としたⅢ期試験（8月）も行っています。通信制の選抜では、面接を行います。

がいこくじんせいと とくべつわくせんぱつ 外国人生徒にかかる特別枠選抜

2月実施	募集定員 18名（実施校6校×各3名） 県立神戸甲北高等学校（総合学科）、県立芦屋高等学校（単位制）、 神戸市立須磨翔風高等学校（総合学科）、県立伊丹北高等学校（総合学科）、 県立加古川南高等学校（総合学科）、県立香寺高等学校（総合学科） 県内全域から受検可能 適性検査（国語、数学、英語）・面接 ※推薦入学、特別選抜と同日実施
-------------	---

県立全日制高等学校で学ぶ意欲があるにもかかわらず、渡日間もなく日本語運用能力やコミュニケーション能力が十分でない外国人生徒を対象に、入学者選抜の方法の工夫、入学後の学習支援を行う特別枠選抜を6校で実施します。合格とならなかった場合は3月実施の学力検査等を受検することができます。

出願資格については、県教育委員会事務局高校教育課へ問い合わせてください。

また、選抜方法等詳細については、各実施校の募集要項（11月中旬頃）を確認してください。

Q & A

Q 学びたい学校について自分で調べるには、どのような方法があるでしょうか。

A 多くの学校では、6～12月に「オープンハイスクール」を実施しますので、その機会に実際にその学校に行って特色ある教育活動の説明を聞いたり体験授業に参加したりすることができます。また、多くの学校ではホームページを開設しており、インターネットを活用して学校について調べることができます。

また、県教育委員会ホームページからもご覧いただけます。

<https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/koko/nyuushi/syoukaipamphlet/>

お問い合わせ先

兵庫県教育委員会事務局高校教育課

〒670-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 TEL (078) 341-7711（代表）